

# 施設関係者評価実施報告書

令和3年 3月 24日

報告者氏名

田中 圭



## ①全体評価

今年度はコロナ禍ということもあり、活動に制限がかかることが多かったが、  
その中で方法を模索し少しでも子ども達が楽しめるよう計画し実施したことを高く評価する。

## ②学校評価の個別評価

### 教育課程・指導

教育課程・全体的な計画に基づいた各指導計画の下、個々の発達に即した指導が  
されている。

### 保健管理

コロナに関する情報や予防の徹底、その他感染症等の情報提供や年二回の健康診断の  
結果を保護者に伝える。以上児の尿検査の実施。

マスク着用・手洗い消毒の徹底のおかげで、感染症が流行ることはなかった。

### 安全管理

毎月の避難訓練において、園児・職員共に防災意識を高める指導が行われている。

事故防止委員会を設置し、会議等を行い職員間で情報を共有している。

### 組織運営

職員のバランスを配慮して計画を立てており、得意な所を活かせるようにしている。

### 研修(資質向上の取組)

園内外の研修に参加し、一人一人の職員がスキルアップ出来るよう研修がなされている。

### 教育目標・学校評価

チェックリストによる総合的な自己評価とクラス毎の教育・保育の評価が正しくなされている。

### 情報提供

玄関での掲示板やお便り帳・お手紙やスライドを使ったドキュメンテーションで伝えている。

### 子育て支援

送迎時の情報交換やお便り帳の活用。必要に応じて個人面談等行われている。

### 預かり保育

延長保育や一時預かりなど保育時間外の体制も配備されている。

### 教育環境整備

園内全体の安全に遊べる空間の確保と、教育・保育に即した環境の見直しを図られている。

## ③その他必要な評価

### 食育活動

コロナ禍で食育活動が思うように進めることが出来なかったようだ。

## ④課題と検討

引き続きコロナ禍ということなので、昨年の計画を基に更に検討を重ね新しい生活様式に  
合った活動を取り入れていく。

職員間のハウレンソウを密にし、子ども達にはアクティブラーニングを取り入れ主体性を  
育み目的を持って行動できるようプログラミング的思考を身に付けさせる。